



# 名瀬小だより

## 11月号

学校教育目標

自分・友だち・まちがすき

自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年10月30日

横浜市立名瀬小学校

校長 中嶋 孝宏



## 最高の名瀬リンピック

校長 中嶋 孝宏

10月6日に1・6年生、7日に2・4年生、13日に3・5年生による名瀬リンピックが行われました。今年度は昨今の状況を踏まえ、ペア学年での「名瀬リンピック」として開催しました。「絆～全力で楽しみ、みんなで力を合わせよう～」のスローガンのもと1・6年生からスタートしました。朝から楽しみにしていた1年生と、気合の入った6年生による競技・演技は最高でした。開閉会式においても1年生を支える6年生の温かさが随所に感じられました。1年生の演技を6年生が前から見守り、6年生の演技を応援する隊形も温かな雰囲気をつくり上げていました。

1・6年の交流種目「魔法のじゅうたん」では、1年生の楽しそうな笑顔と6年生の優しさがあふれていました。6年の演技「魂を燃やせ！名瀬っ子ソーラン2020」は力強く迫力ある演技でした。

2日目は「かがやく笑顔 かいっぱい思い出に」のスローガンのもと、2・4年生の「名瀬リンピック」が開催されました。2年の演技「みんなでALOHA🌸名瀬っ子OHANA🌸」では1年生の時から随分成長した姿が見られました。4年の演技「みんなでイーヤーサーサー！名瀬っ子エイサー」では、練習した成果が存分に発揮されていました。2・4年の交流種目「くねくね道でおとさないで！」では、2・4年のなかよしパワーを赤玉にのせて、協力して落とさず運ぶ様子に気持ちが温かくなりました。

3・5年のスローガンは「団結 みんなで協力し元気と笑顔があふれる名瀬リンピックにしよう！」でした。開会式から3・5年ともに気合が入り、「みんなで団結して成功させよう。」という気持ちがひしひしと伝わってきました。3年の演技「レインボーフラッグ2020」では、旗を使い、静と動を表現した見事な演技でした。3・5年の交流種目「ペアで団結！五飯をまきこめ！レインボーハリケーン」は、棒をつかみみんなで進んでいく様子から、ペアの一体感を感じました。そして、5年の演技「受け継ぐバトン！名瀬っ子ソーラン」では、6年生からのバトンを受け継ぎ、みんなで作り上げたという思いが伝わりました。

どのペア学年においても、力を合わせたすばらしい取組を見ることができました。

3日にわたる名瀬リンピック、PTA本部役員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、職員も力を合わせ、子どもたちが活躍することができました。本当にありがとうございます。名瀬の地域で温かく育まれていく子どもたちのこれからのさらなる活躍・成長が楽しみです。

「自分ができること」に取り組んでほしいと今月の朝会で子どもたちには話しました。一步踏み出す勇気と少しの挑戦で自分ができるとは増えていきます。名瀬リンピックでそのことについて話した際、真剣な顔でうなずきながら聞いていた子どもたちにたくましさを感じずにはられませんでした。引き続きご家庭や地域でのご支援をよろしくお願いします。

